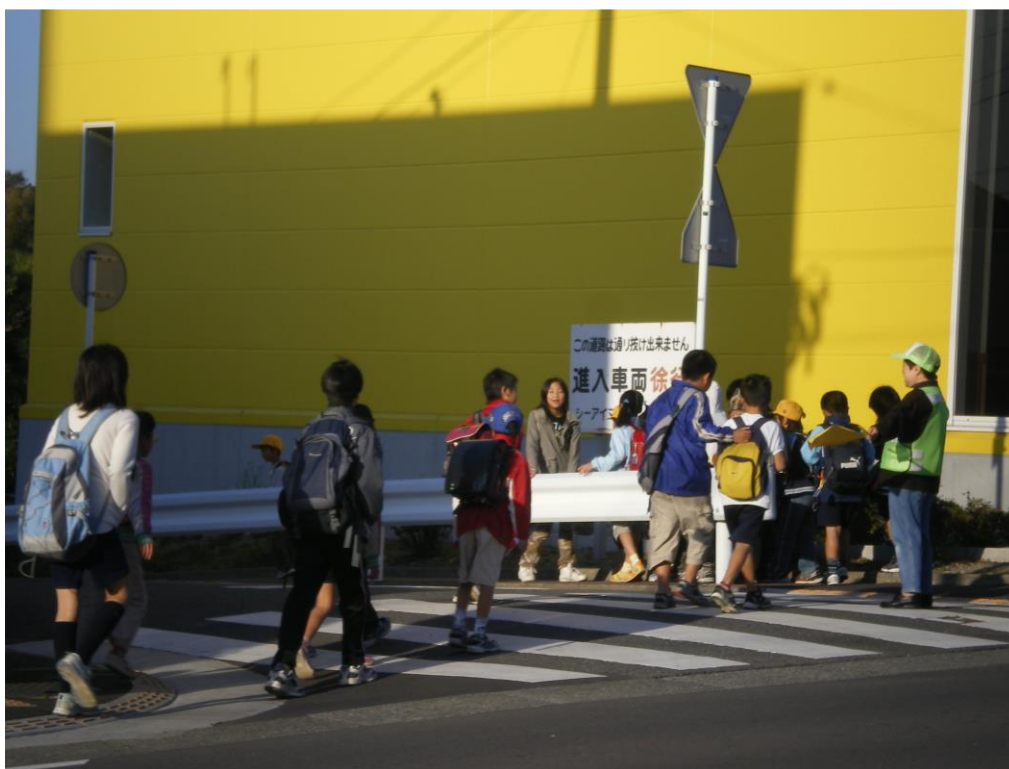


4. 安全なくらし



三浦海岸駅前^{みうらかいがんえきまえ}の横断歩道^{おうだんぽどう}の様子^{ようす} (編集委員撮影)

火災^{こうつうじ}や交通事故^こは、いっしゅんのうちに、わたしたちの大切な命^{たいせつ}や財産^{ざいさん}をうばってしまうおそろしいものです。これらの災害^{さいがい}や事故^{じこ}から、わたしたちのくらしの安全^{あんぜん}を守るために、市では、どんなしくみでどのような仕事を行っているのでしょうか。

また、災害^{さいがい}や事故^{じこ}をふせぐために、どのような取り組みが行われているのでしょうか。調べてみましょう。^{しら}

学習のめあて

- 1 学校や地いきの、災害にそなえるせつびはどこにあるのでしょうか。
- 2 火災や災害から人々を守るために、消防署^{しょうぼうしょ}などではどんな仕事をしているのでしょうか。
- 3 交通事故をふせぐために、警察署^{けいさつしょ}ではどんな仕事をしているのでしょうか。

(1) 火災をふせぐ



三崎5丁目の大火（写真提供 消防署）

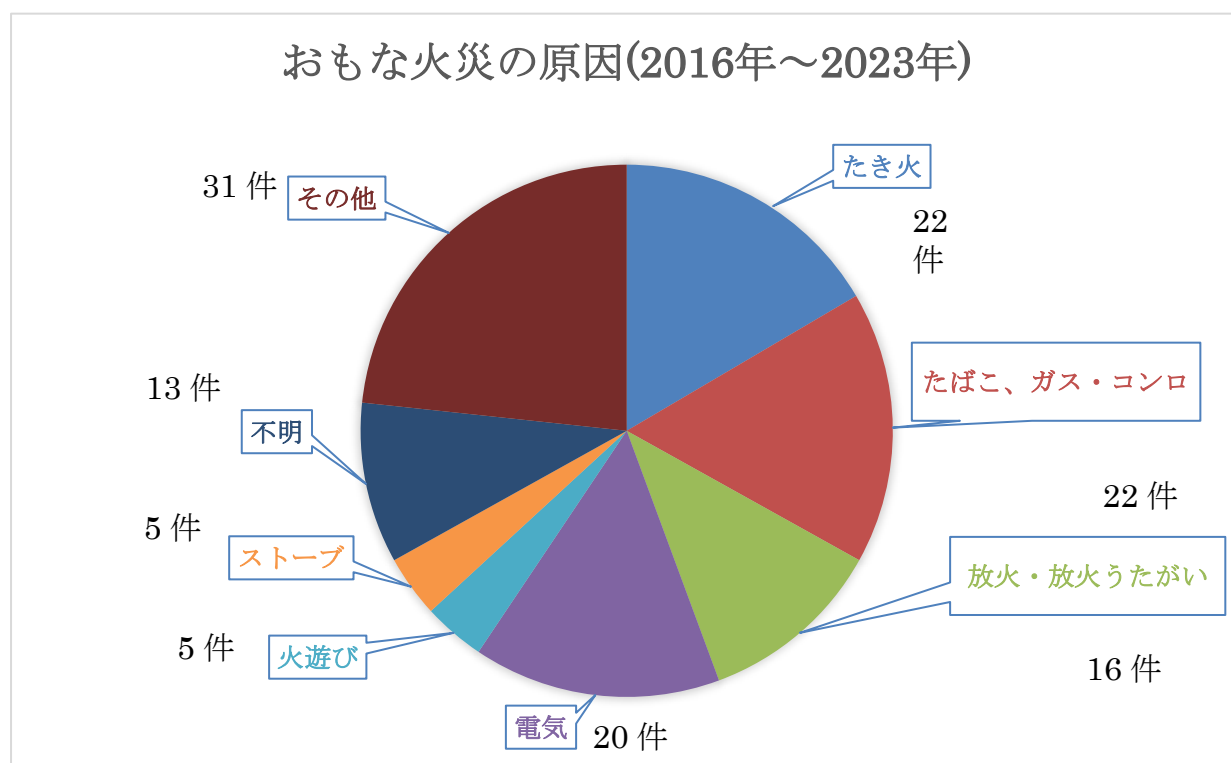
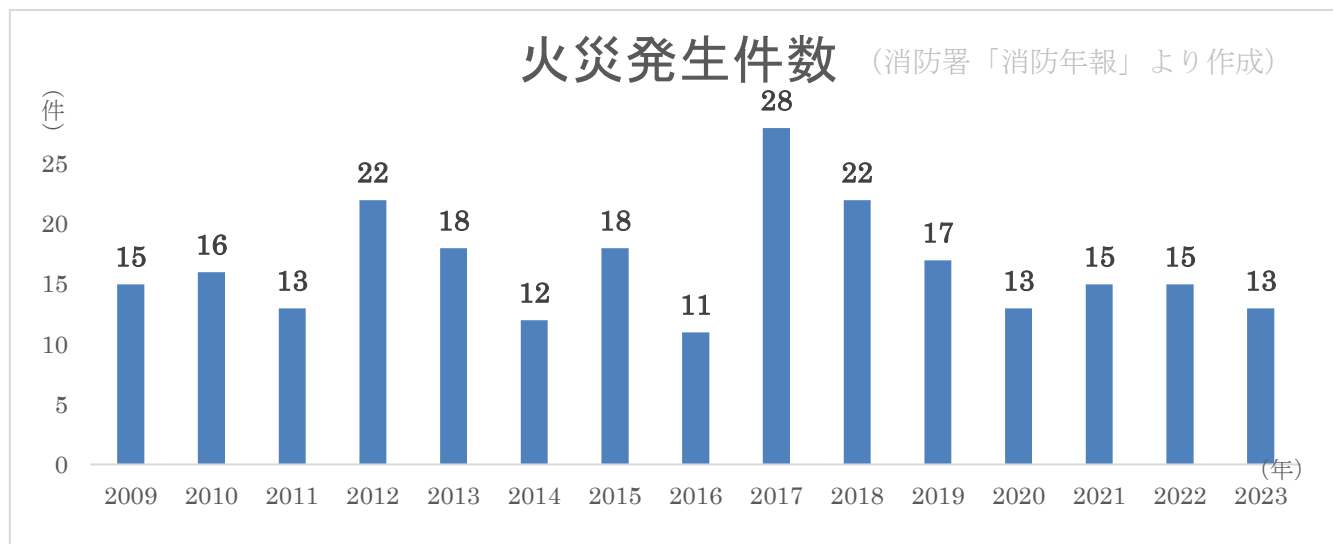
三浦市では、おかしから^{なんど}何度か大きな火災が発生しています。

なかでも、1975年（昭和50）1月に起きた、三崎5丁目^{みさき}の大火^{たいか}では40おね^やが焼け、たくさん^{うしな}の人の家が失いました。

このようなおそろしい火災が起きた時、人々の命を守るために、消防署^{しょうぼうしょ}はどのような仕事をしているのでしょうか。また、火災をふせぐために、どのような活動をしているのか、調べてみましょう。

◆三浦市で起きた火災

三浦市ではいままでどのような火災^{はっせい}が発生しているのでしょうか。火災^{けんすう}の件数や原因^{げんいん}などを調べてみましょう。

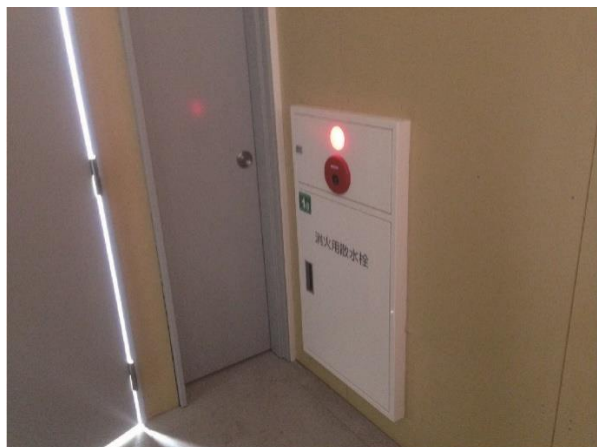


(消防署データをもとに作成)



◆^{みぢか}^{しょうぼうしせつ} 身近な消防施設

^{しょうかき}^{しょうか} 消火器や消火せん、^{ぼうかすい} 防火水そうなど、^{がっこう} 学校や地いきの火災をふせぐ^{しら} せつびを調べてみましょう



^{しょうか}^{ぼうか} 消火せんと防火とびら（写真提供 消防署）



^{しょうか}^{せん}^{ひょうしき} 消火栓の標識（編集委員撮影）



^{そうすいこう} 送水口（写真提供 消防署）



^{じどうかさいほうちせつび} 自動火災報知設備（写真提供 消防署）

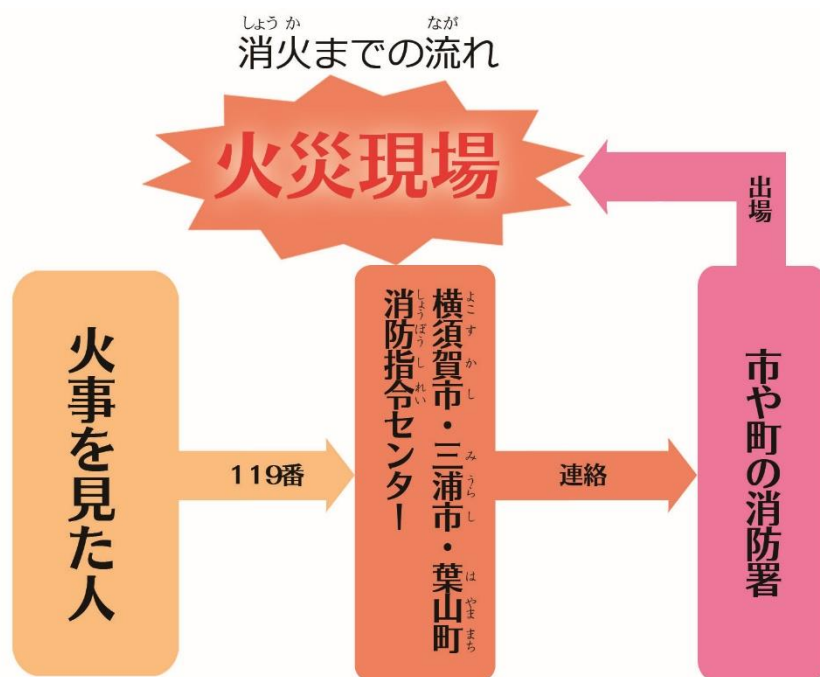


^{しょうか} 消火せん（編集委員撮影）



^{ぼうかすい} 防火水そう（編集委員撮影）

◆ 消火の仕組み



しょうぼうきょくつうしんしれいしつ
消防局通信指令室 (写真提供 横須賀市消防局)

みうらししょうぼうほんぶ
2017 年 4 月に三浦市消防本部
よこすかししょうぼうきょく
と、横須賀市消防局が、より早く、
より多くの人を助けられるように
しょうぼう こういきか
するために、消防の広域化を行いました。



みさきしゅつちようじよ
三崎出張所 (写真提供 横須賀市消防局)



みうらししょうぼうしよ
三浦消防署 (写真提供 横須賀市消防局)

◆ 消防署の仕事

消防署の人は、火災を
予防し、火災が起きた時、少
しでも早く火を消すための仕
ごと
事をしています。

また、急病人やけが人な
どをすばやく病院に運ぶ救
急活動や、救助が必要な人を
救出する救助活動もしていま
す。



くんれんかつどう
訓練活動 (写真提供 横須賀市消防局)



救急車の中 (写真提供 横須賀市消防局)



きゅうじょこうさくしゃ
救助工作車 (写真提供 横須賀市消防局)

消防署員の話

市内で 119番通報をすると、横須賀市消防局の通信指令室につな
がります。ここから、近くの消防署や分署・出張所、消防団に出動
指令が出され、5分から8分くらいで現場に着きます。

警察署やガス会社、電力会社、市の水道部などにも、すぐ連絡しま
す。大きな火災の時にはおたがいに協力して早く消火できるよう、
他の市や町とも、おうえん協定を結んでいます。

また、ふだんから、早く出動するための訓練や、消火の仕方の学習
もしています。

◆ 消防団の活動

消防団の人は、ふだんは農業や会社員など自分の仕事をして
いますが、いざ、市内で火災が発生した時や、地震や台風などで被害
が起きた時は、消防団員として消火や救助活動など市民のために
活やくします。

また、「火の用心」の呼びかけや消火せんの点検など、災害では
ない時も、市民の安全のために活やくしています。

消防団の訓練活動



（２）地^{たいふう}しんや台風^{たいふう}にそなえて

三浦市では、大きな地^{たいふう}しんや台風^{たいふう}、大雨などの災害^{さいがい}にそなえて、国や県と協^{きょうりよく}力^{さいがい}し、災害^{さいがい}に強い、安全^{あんぜん}なまちづくりをめざしています。

安全^{あんぜん}な暮らしを守るために、三浦市ではどんな取り組みをしているか、調^{しら}べてみましょう。

小学校でも、避難^{ひなん}訓練^{くんれん}などがあります。自分たちの命^{まも}を守るために、どんなことに気をつけたらよいか考えてみましょう。



さまざまな防災用品^{ぼうさいようひん}（編集委員撮影）

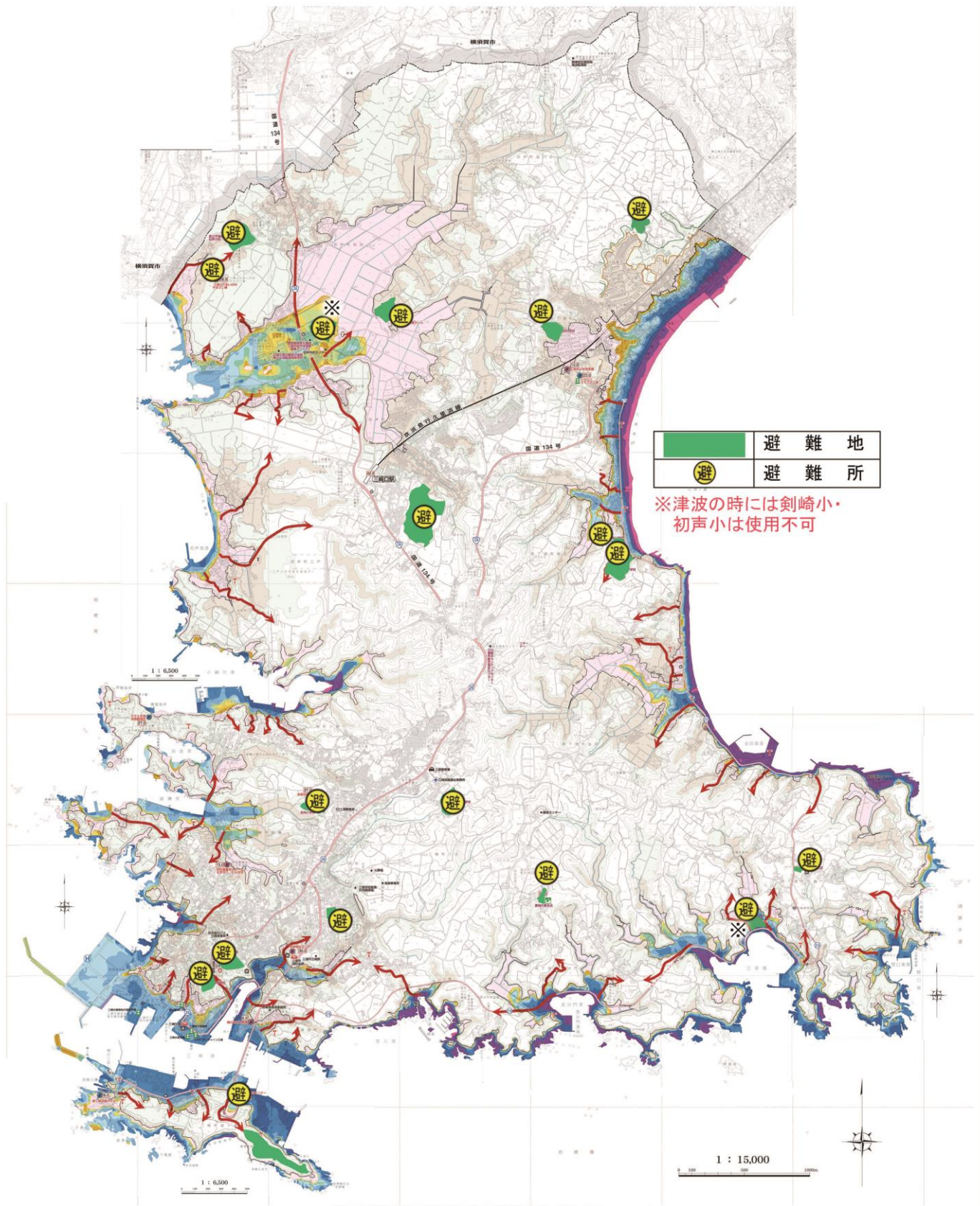


防災機材倉庫^{ぼうさいきざいそうこ}（編集委員撮影）



三浦市総合防災訓練^{みうらしそうごうぼうさいくんれん}（編集委員撮影）

三浦市の避難地・避難所



(編集委員作成)

(3) 交通事故をふせぐ



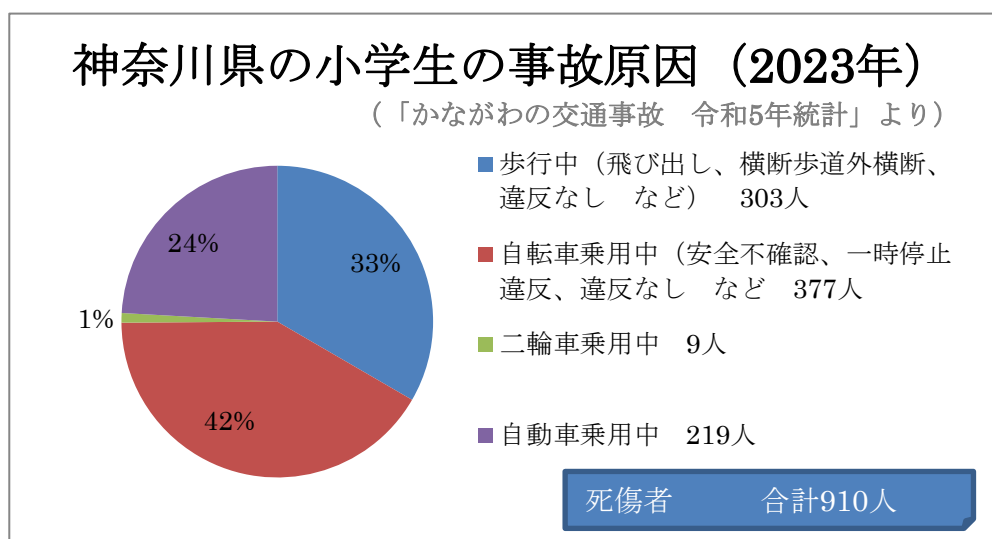
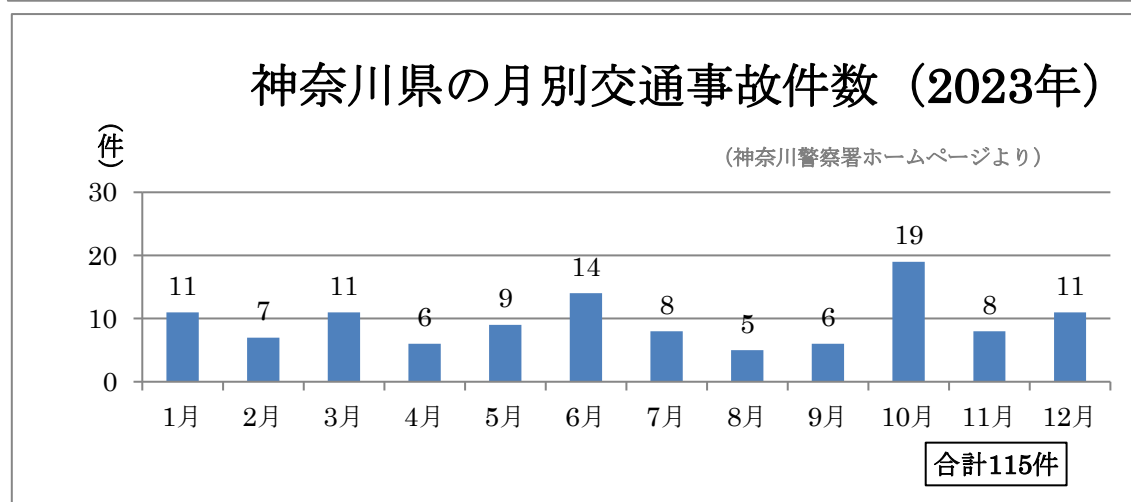
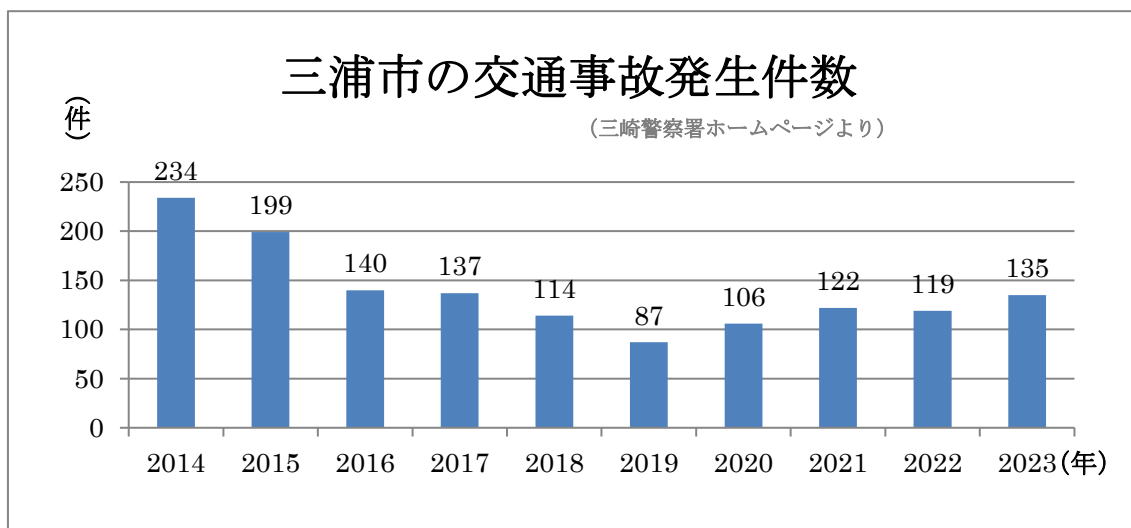
交通事故現場

交通安全は、一人ひとりの心がけといわれます。ちょっとした不注意で、大事故になってしまうことがあります。

交通事故をふせぐために、どんな工夫がされ、どんな人たちが仕事をしているのでしょうか。また、交通事故が起きた時、警察署では、どのような仕事をしているのでしょうか。調べてみましょう。

◆三浦市で起こる交通事故

三浦市では、どのくらいの数の交通事故が起きているのでしょうか。また、どんなことが原因で、交通事故が起きるのでしょうか。調べてみましょう。



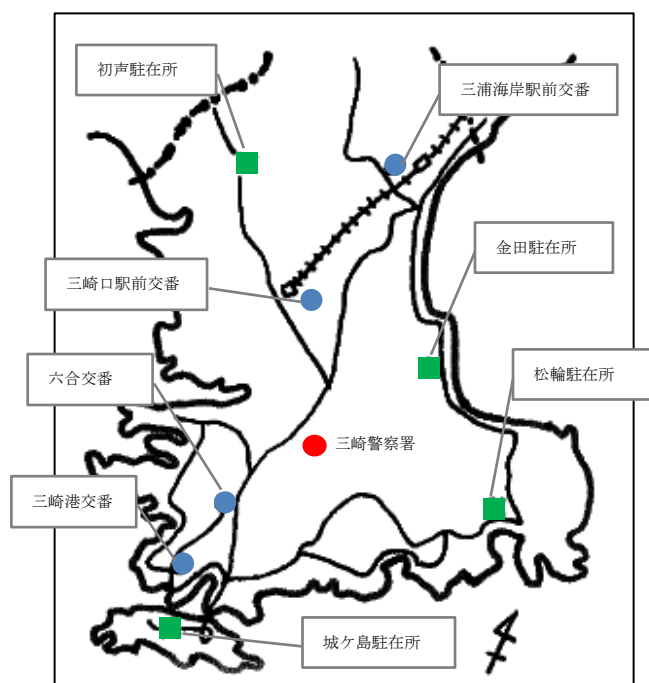
◆^{けいさつしよ しごと}警察署の仕事



^{み さきけいさつしよ}三崎警察署 (編集委員撮影)



^{み さきぐちえきまえこうばん}三崎口駅前交番 (編集委員撮影)



^{こうつうあんぜん し どう}交通安全指導をしている^{けいさつかん}警察官 (編集委員撮影)

^{けいさつかん}警察官の話

^{けいさつ}警察は、^{じ こ ぼう し}交通事故の防止や町のパトロールなど、みなさんのくらしを守るための^{しごと}仕事をしています。そして、^{けいさつしよ}警察署の区いきをさらに^{こま}細かく^わ分けて、みなさんのくらしを^{まも}守っているのが、^{こうばん}交番や^{ちゆうざいしよ}駐在所です。

大きな^{じ こ お}交通事故が起きた時は、^{き かん びやういん しやうぼう}いろいろな機関（病院、消防署など）とも^{きやうりよく}協力し合っています。

わたしたちの町から
110番通報をすると、
すべて^{けんけいさつほんぶ}県警察本部につ
ながり、^{ちいき けいさつしよ}地域の警察署や
パトカーに連絡します。
^{けいさつしよ}警察署では、^{れん}交番にも連
絡します。

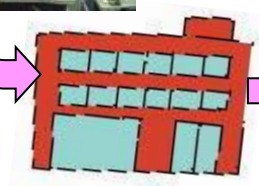
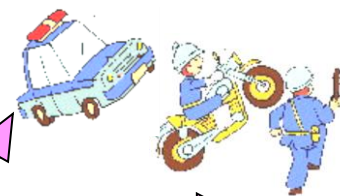
^{かながわけん けいさつほんぶちやうしや}
神奈川県警察本部庁舎



110番通報



^{つうしん しれいしつ}
通信司令室



^{ち いき けいさつしよ}
地域の警察署



また、おなじ建物の中
^{こうつうかんせい}に交通管制センターが
あり、県内の交通のよう
すを放送や情報板で知
^{じやうほうばん}らせています。

(神奈川県警ホームページをもとに作成)

交通安全のために、
警察官だけでなく、^{こうつうゆうどういん}交通誘導員も活やくしています。事故をふせぐため
にわたしたちにできることは何かを考えてみましょう。



^{こうつうかんせい せん たー}
交通管制センター

(神奈川県警ホームページより)



^{こうつうせいり} 交通整理をしている ^{こうつうゆうどういん} 交通誘導員

(編集委員撮影)

◆^{ち い き}^{ぼうはんかつどう}地域の防犯活動

近年、登下校の時に子どもたちをめぐる様々な事故や事件^{じ こ}^{じ けん}が起こることから、三浦市では、スクールガードという^{ち い き}^{ぼうはんかつどう}地域の防犯活動を行っています。^{ほ ご しゃ}保護者はもちろん、^{ち い き}地域のボランティアの方々にも多数参加していただき、子どもたちの安全の見守り^{かつどう}活動を行っています。

また^{けいさつ}警察には、スクールサポーターがいて、元警察官^{けいさつかん}の方が^{ち し き}知識や^{けいけん}経験を生かして小学校を中心に学校を訪問^{ほうもん}したり子どもたちの見守りを行ったりしています。



ある学校のスクールガード連絡協議会

(編集委員撮影)



スクールサポーターの方との下校

(編集委員撮影)

また、その他に三浦市 PTA^{れんらくきょうぎかい}^と連絡協議会の取り組みとして、「こども 110 番の家^{はんざい ま こ}」があります。犯罪に巻き込まれそうになるなどの危険^{きけん}を感じたとき、このステッカーがはってある家やお店に駆け込んで、^{か こ}助けを^{たす もと}求めることができます。この取り組みは、三崎警察署^{みさきけいさつしょ}と^{れんけい}連携して行っています。



こども 110 番の家 (編集委員撮影)

(4) 海の安全を守る

三浦市は、海に囲まれた自然豊かな町です。わたしたちは、海とのかかわりあいを通して、様々な恵みをもたらしています。しかし、海はとても危険な顔ももっています。もしもの時、海の安全を守るしくみは、いったいどのようになっているのでしょうか。



城ヶ島付近をパトロールする
巡視船



火災船舶の消火をする巡視船

◆海上保安庁の仕事

海上保安庁は、日ごろから海を見守るパトロールを行っています。
そして、海で事故が起きたときに救助したり、海上犯罪を取り締ま
ったりしています。例えば、海を移動するタンカーと船がぶつかっ
てしまったときは、連絡を受けて巡視船などが駆けつけ、事故の対
応に当たります。また、サザエやアワビの密漁の取り締まりも行い
ます。その他に、災害に備えるための活動や海を調査する活動など
にも取り組んでいます。



密漁されたあわび



ヘリコプターでの人命救助
にあたる特殊救難隊

(横須賀海上保安部)



海浜パトロールで安全指導

(橫須賀海上保安部)

◆海の安全を守るしくみ

もし、海での事故がおこってしまった場合は、118 番に通報します。その連絡は、関東地域では横浜市にある第三管区海上保安本部につながります。その後、地域にある海上保安部などと連絡を取り合い、巡視船や航空機などを出動させて、事故の対応にあたります。

このように、海上保安庁は、警察や消防、自衛隊などと協力しながら、海の安全を守っているのです。



海岸沿いで事故が発生し 118 番通報を受けたら、海上保安庁から警察や消防にも連絡し、連携して捜索にあたります。

海上保安官の話

わたしたちは、みなさんが安心して海とともに暮らせるように海での救助活動や事故の防止、犯罪のパトロールなどに取り組んでいます。

海でサザエやアワビを採ることが犯罪行為になること、海で事故に巻き込まれた時には118番通報をすることなど、海に関するさまざまな情報を発信しています。ぜひ、海上保安官の仕事について調べてみてください。



横須賀海上保安部（横須賀市）
（横須賀海上保安部）



横須賀海上保安部船艇基地
（横須賀海上保安部）